

2024年1月24日

## バイオガスプラント関連設備（ガス精製、二酸化炭素液化等）を連続受注 ～ 英国で計3件 循環型経済の実現に貢献 ～

日立造船株式会社の100%子会社で、ごみ焼却発電プラントや再生可能ガスプラントの設計、建設、保守、運営などを手がけるHitachi Zosen Inova AG（スイス、以下、HZI）は、このほど、英国でバイオガスプラントを多数所有、運営するBio Capital社より、既存のバイオガスプラントの機能を強化するため、バイオメタンや液化二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）を製造する設備など2つの案件を受注しました。

Bio Capital社からは、昨年9月に同様にバイオガスプラント関連設備を受注しており、同社から計3件の受注となります。



HZIが新たな設備を納入するEast Londonのバイオガスプラント ©Bio Capital Ltd.

今回の2件の受注は、ロンドン北東部のEast Londonとイングランド東部のNorfolkにあるプラントに設置されるもので、HZIは、East Londonの案件ではバイオガス精製設備（バイオガスからCO<sub>2</sub>を分離しメタン濃度が高いバイオメタンを製造する設備）を、Norfolkの案件ではCO<sub>2</sub>を液化する設備などをそれぞれ納入する予定です。また、昨年9月の受注は北アイルランドDungannonのプラント向け案件で、CO<sub>2</sub>液化設備を納入予定です。いずれの案件も、HZIは設備の設計と調達を担います。

各プラントでは、従来より生ごみ・食品廃棄物などからバイオメタンや肥料、電力を作っていますが、バイオガス精製により高純度のバイオメタンを製造することで発電以外にも利用できるほか、精製過程で分離したCO<sub>2</sub>は英国内の食品業界で活用されます。

このような領域での HZI の事業強化は、欧州で高まるバイオガス・バイオメタン需要に応えるとともに、気候変動に悪影響を与える CO2 の排出量を削減し、長期的な再生可能エネルギーの供給に寄与するものです。

当社グループは中期経営計画「Forward 25」において、750 億円規模の事業投資を計画しており、バイオガス事業等を拡大していく計画です。今回の一連の受注もその取り組みの一環であり、グループ全体でバイオガス・バイオメタン関連の技術を活用し、サーキュラーエコノミー（循環型経済）の実現に貢献していきます。

なお、一連の案件概要は下表のとおりです。

既存のプラント	East London Biogas	Corbiere Renewables	Granville Eco Park
発注者	いずれも Bio Capital Ltd. (英)		
所在地	East London (ロンドン北東部)	Norfolk (イングランド東部)	Dungannon (北アイルランド)
納入設備 能力等	<u>バイオガス精製設備</u> 処理能力：1,200Nm <sup>3</sup> /h	<u>CO<sub>2</sub> 液化設備</u> 製造能力：750kg/h	<u>CO<sub>2</sub> 液化設備</u> 製造能力：1,000kg/h
予定	2024 年 8 月に供給開始	2024 年 12 月～2025 年 2 月頃に試運転開始	2024 年第 4 四半期引渡し

(終)